

原田市長の

さんぽみち

散歩道



今年の夏は、いつもの年より暑かったため、熱中症になった人も多かった。また、戸籍上で超高齢者がいることが分かり大きな話題になった。

全国で百歳以上の人は実際は約4万人、最高年齢は113歳なのに、戸籍上では23万人もいて、その最高年齢は200歳にもなっていた。袋井市でも戸籍上の最高齢者は安政3年生まれ、154歳となっていた。

日本の戸籍は江戸時代にはすでにあったが、家族単位で編成され、一組の夫婦と同じ姓の子どもが同一戸籍となる現在の戸籍制度は、明治4年にその原型ができた。

世界的には「家」の単位の戸籍制度は珍しいが、善良な家族関係を表しているという観点や出生、婚姻、パスポート発行の際の国籍の証明などに便利であることから現在の形が続いている。

戸籍上で超高齢者が存在するのは、死亡届が出されない限り、抹消できないことによる。例えば、袋井市から他市へ転出された人がその後所在不明になり、どこかで災害に遭って死亡した場合、本人の

本籍が袋井市にあることが分かれば連絡がきて抹消されるが、連絡がこない限り、戸籍上いつまでも残っていることになる。

今回、袋井市でも改めて調査したところ、百歳以上の人の戸籍が68人残っていたので、このうち110歳以上の50人を法務省と相談して抹消することにした。

「154歳の超高齢者」

このような戸籍の抹消によって、日本人の平均寿命が短くなったり、年金支給額が少なくなることはない。それは、選挙、年金、国民健康保険など行政サービスの大半は、実際に生活している人を対象にした住民基本台帳をもとにしているからである。

今回の騒ぎは、国民に対して「行政が行ったことをしてなかった」という不信感を抱かせ、外国にも「日本の統計は間違っている」という疑念を抱かせた。

折しも今月1日からは国勢調査が始まる。5年に一度行われる国民生活の実態調査で、今後の統計データの基礎をなすものだけに、誤りのないように十分気を付けて行わなければならないと思う。

季節の健康レシピ

『毎月19日は、食育の日』 中の具を変えてもおいしい

シイタケのオムレツ

●材料(6人分)

- 干しシイタケ …… 5枚
- ジャガイモ …… 小2個
- ニンジン …… 1/4本
- ピーマン …… 1/2個
- ハム …… 2枚
- 卵 …… 3個
- 砂糖 …… 大さじ1
- 薄口しょう油 …… 大さじ1
- 油 …… 大さじ1

●薬膳まめ知識

干しシイタケは免疫力を高め、腎臓の動きを良くし、老化予防にも効果があります。卵は滋養に富んだ食材です。

●作り方

- ①干しシイタケは戻しておき、大きいものは半分にして薄切りにする。
- ②ジャガイモ、ニンジンは短冊切りにし、竹串が通るまでゆでる。
- ③ピーマン、ハムは細切りにする。
- ④ポウルにAをませ、①②③を加えて軽く混ぜる。
- ⑤フライパンに油大さじ1を熱し、④を流し入れ、フタをして弱火で焼く。裏に焼き色がついたら裏返す。フライ返しで押さえ、卵液がでなくなったら6等分に切り、器に盛る。

●栄養価(1人分) エネルギー101kcal/たんぱく質4.7g/脂質5.2g/カルシウム17mg/鉄0.7mg/ビタミンC16mg/食物繊維1.0g/塩分0.7g



表紙のことは

9月4日、原野谷川でカヌー教室が行われ、市内の小学3〜6年生36人が参加しました。

子どもたちは、ヘルメットとライフジャケットを身に付け、カヌーの乗り方を学んだ後、早速色とりどりのカヌーに乗船。流れの緩やかな所での基本練習では、パドル(漕ぎ道具)の操作に苦戦している子どもたちも、すぐに慣れた様子で、本番の川下りでは、「川の上は涼しくて気持ちいいな」などと、楽しみながら全員が無事ゴールしました。



■市民の動き(平成22年9月1日現在)
人口/86,935人(前月比+46人) 世帯数/30,926世帯(前月比+28)

袋井市の木・花・鳥(平成22年5月16日制定)

市の木:キンモクセイ



庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。

市の花:コスモス



秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。

市の鳥:フクロウ



鎌倉時代の遺塵和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、歴史的な関わりが深く、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。